

Intersightプライベート仮想アプライアンスのインフラストラクチャとサーバファームウェアをIntersightマネージドモードでアップグレードします。

内容

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[設定](#)

[はじめる前に](#)

[ファブリックインターコネクトアップグレード](#)

[サーバアップグレード](#)

[確認](#)

[関連情報](#)

はじめに

このドキュメントでは、プライベート仮想アプライアンス(PVA)上のUCSドメインおよびサーバのアップグレードプロセスについて説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Intersight Managed Mode(IMM)に関する一般的な知識と知識。
- Intersightプライベート仮想アプライアンス(PVA)について

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- Cisco UCS 6454 54ポートファブリックインターコネクト、ファームウェア4.2.3(d)
- Cisco UCS B200 M5ブレードサーバ、ファームウェア4.2.1(a)

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このド

キュメント内で使用されているデバイスはすべて、クリアな設定（デフォルト）から作業を始めています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

背景説明

プライベート仮想アプライアンス(PVA)は、仮想マシンにカプセル化されたCisco Intersightプラットフォームのオンプレミスバージョンです。インフラストラクチャ管理や自動化など、クラウドベースのIntersightサービスと同じ機能と利点をプライベートネットワーク内で提供します。これは、厳格なコンプライアンスや規制要件を持つ組織など、高レベルのデータセキュリティを必要とする組織のニーズを満たします。

PVA環境向けのソフトウェアバンドルパッケージはIntersightに保存され、Intersightアプライアンスアカウントからダウンロードできます。

設定

はじめる前に

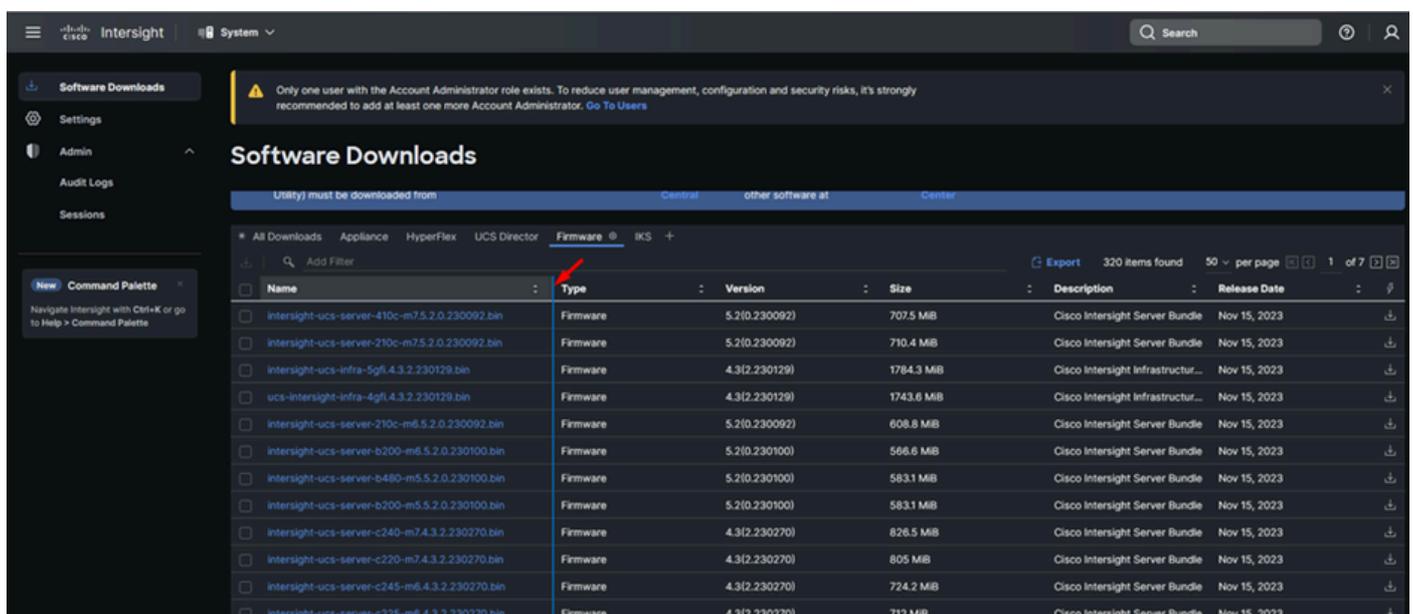
アカウントを設定するには、このリンクに移動します：[アプライアンスアカウントの作成](#)。
手順に従ってライセンス契約に同意し、ライセンス契約のアカウント名を作成します。

ファブリックインターコネクトアップグレード

ステップ 1：Applianceアカウントを作成したら、Software Downloads > Software Catalog > Firmwareの順に移動します。

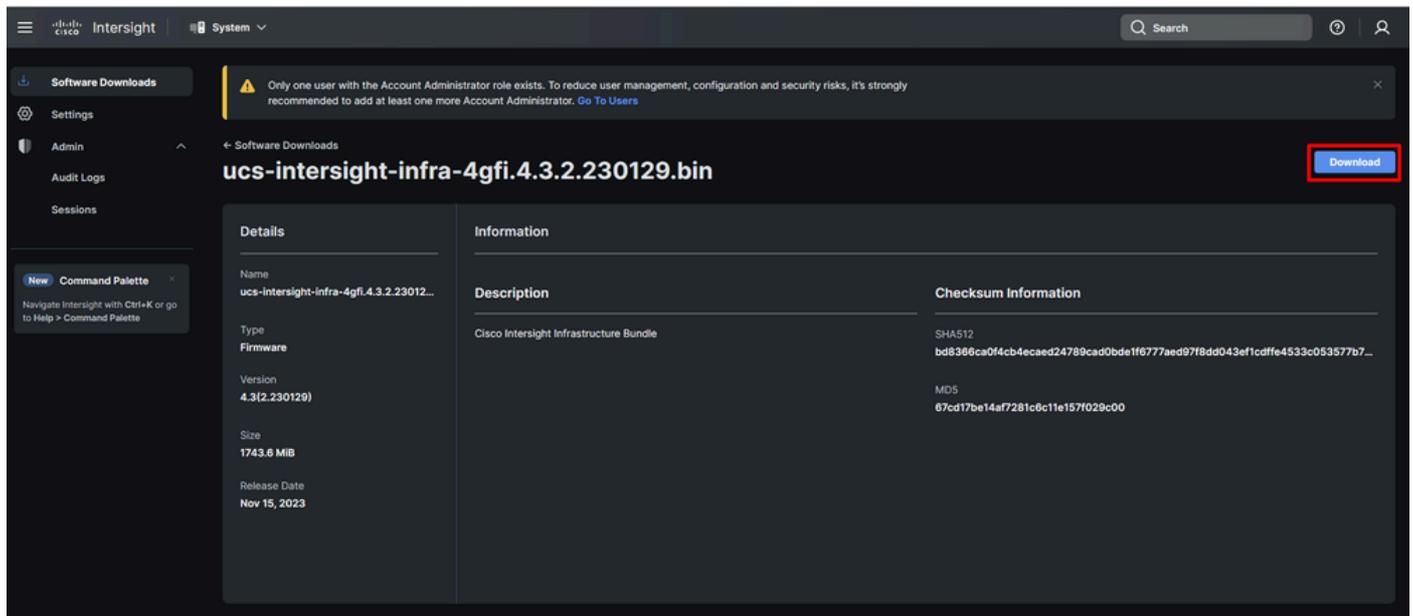
移動するファームウェアバージョンを探します。名前をクリックします。

 ヒント：名前の列を展開して、デバイスのモデルとバージョンを確認します。



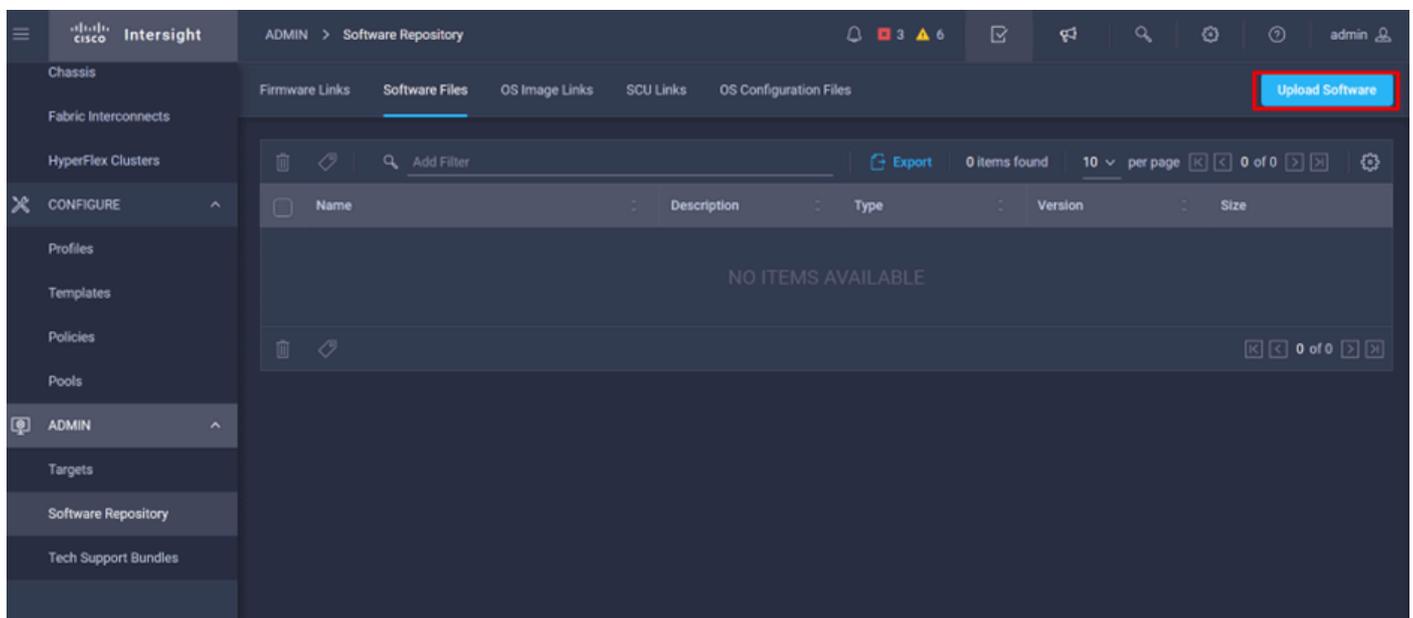
Name	Type	Version	Size	Description	Release Date
intersight-ucs-server-410c-m7.5.2.0.230092.bin	Firmware	5.2(0.230092)	707.5 MiB	Cisco Intersight Server Bundle	Nov 15, 2023
intersight-ucs-server-210c-m7.5.2.0.230092.bin	Firmware	5.2(0.230092)	710.4 MiB	Cisco Intersight Server Bundle	Nov 15, 2023
intersight-ucs-infra-5gfl-4.3f2.230129.bin	Firmware	4.3f2.230129	1784.3 MiB	Cisco Intersight Infrastructur...	Nov 15, 2023
ucs-intersight-infra-4gfl-4.3f2.230129.bin	Firmware	4.3f2.230129	1743.6 MiB	Cisco Intersight Infrastructur...	Nov 15, 2023
intersight-ucs-server-210c-m6.5.2.0.230092.bin	Firmware	5.2(0.230092)	608.8 MiB	Cisco Intersight Server Bundle	Nov 15, 2023
intersight-ucs-server-b200-m6.5.2.0.230100.bin	Firmware	5.2(0.230100)	566.6 MiB	Cisco Intersight Server Bundle	Nov 15, 2023
intersight-ucs-server-b480-m5.5.2.0.230100.bin	Firmware	5.2(0.230100)	583.1 MiB	Cisco Intersight Server Bundle	Nov 15, 2023
intersight-ucs-server-b200-m5.5.2.0.230100.bin	Firmware	5.2(0.230100)	583.1 MiB	Cisco Intersight Server Bundle	Nov 15, 2023
intersight-ucs-server-c240-m7.4.3.2.230270.bin	Firmware	4.3f2.230270	826.5 MiB	Cisco Intersight Server Bundle	Nov 15, 2023
intersight-ucs-server-c220-m7.4.3.2.230270.bin	Firmware	4.3f2.230270	805 MiB	Cisco Intersight Server Bundle	Nov 15, 2023
intersight-ucs-server-c245-m6.4.3.2.230270.bin	Firmware	4.3f2.230270	724.2 MiB	Cisco Intersight Server Bundle	Nov 15, 2023
intersight-ucs-server-c225-m6.4.3.2.230270.bin	Firmware	4.3f2.230270	712 MiB	Cisco Intersight Server Bundle	Nov 15, 2023

ステップ 2：新しいウィンドウで、パッケージに関するより詳細な情報を確認できます。これが必要なものであることを確認します。Downloadボタンをクリックします。この例では、Fabricのアップグレードは4.3.2用です。

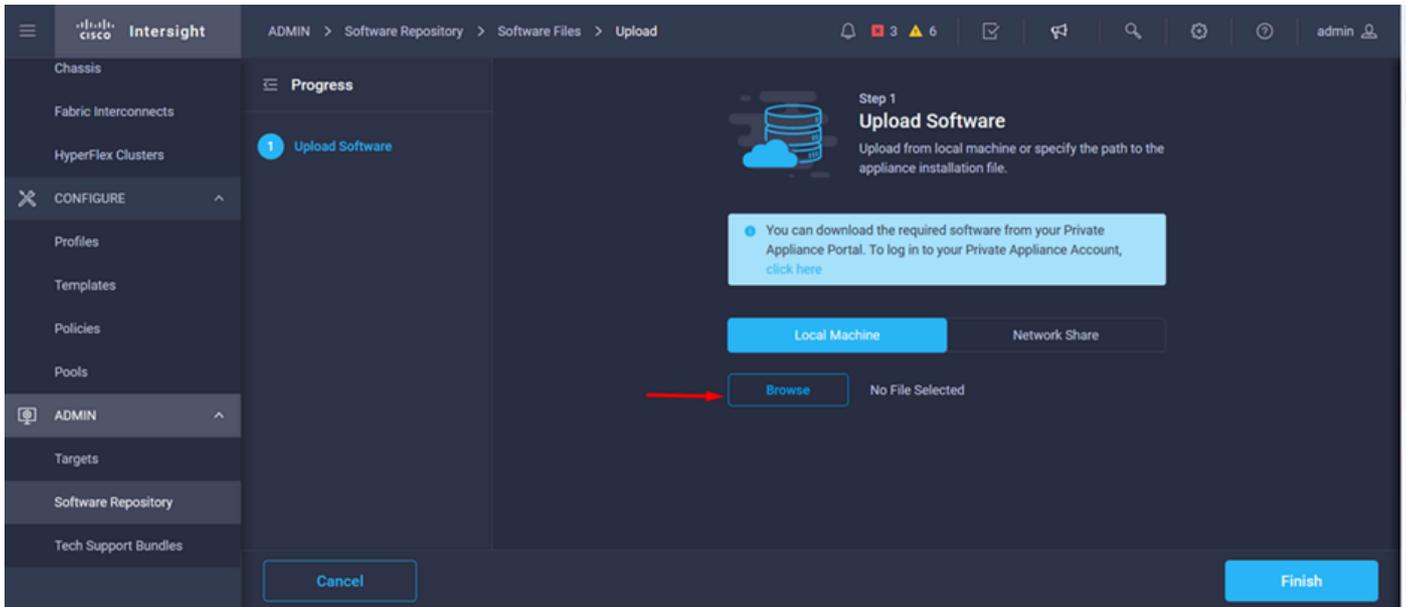


ステップ 3：ダウンロードが完了したら、ブラウザでタブを開き、プライベート仮想アプライアンスにログインします。

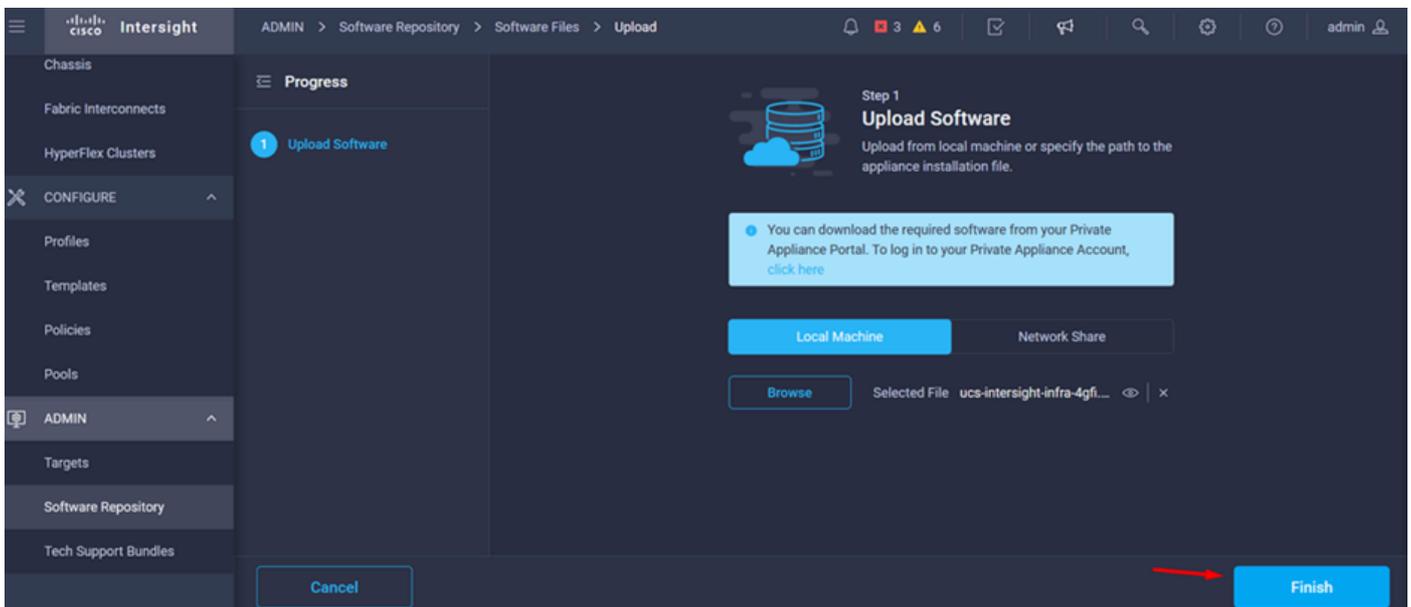
Admin > Software Repository > Software Filesの順に移動します。このタブでは、アップグレード可能なパッケージのリストを表示し、Upload Softwareをクリックします。



ステップ 4：Fabric Interconnectのパッケージを参照してアップロードします。

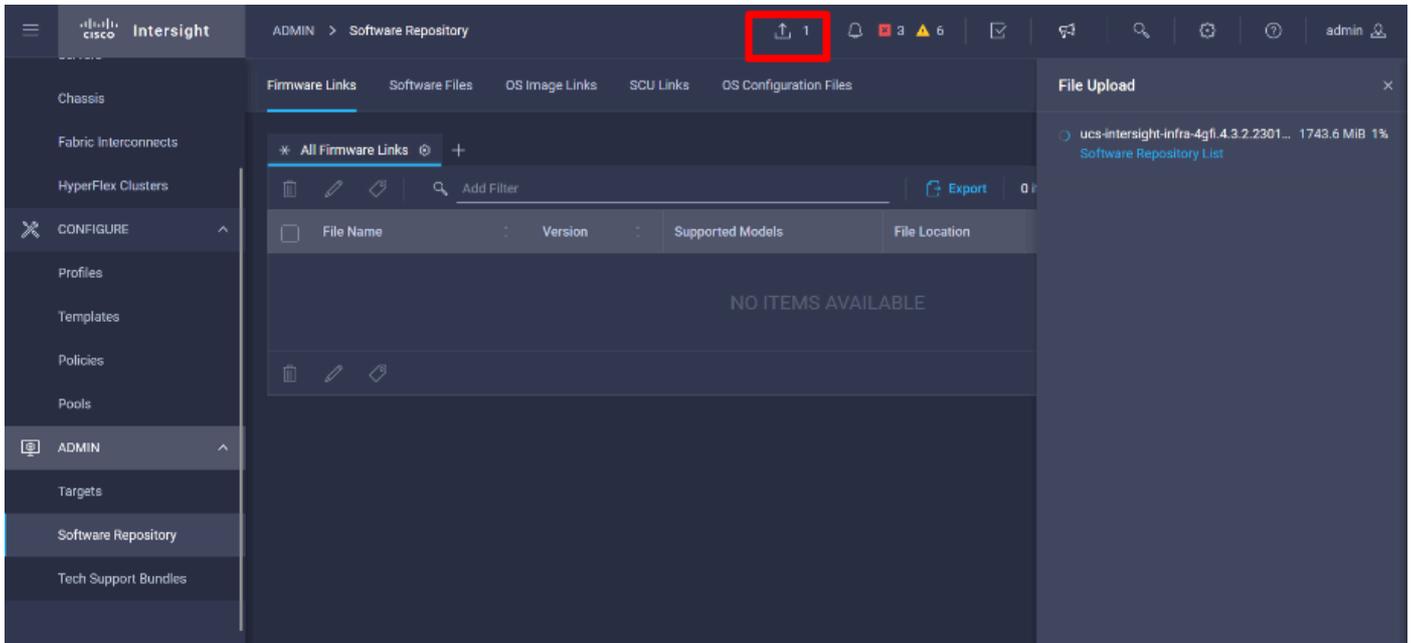


ステップ 5 : マップされたら、Finishボタンをクリックします。

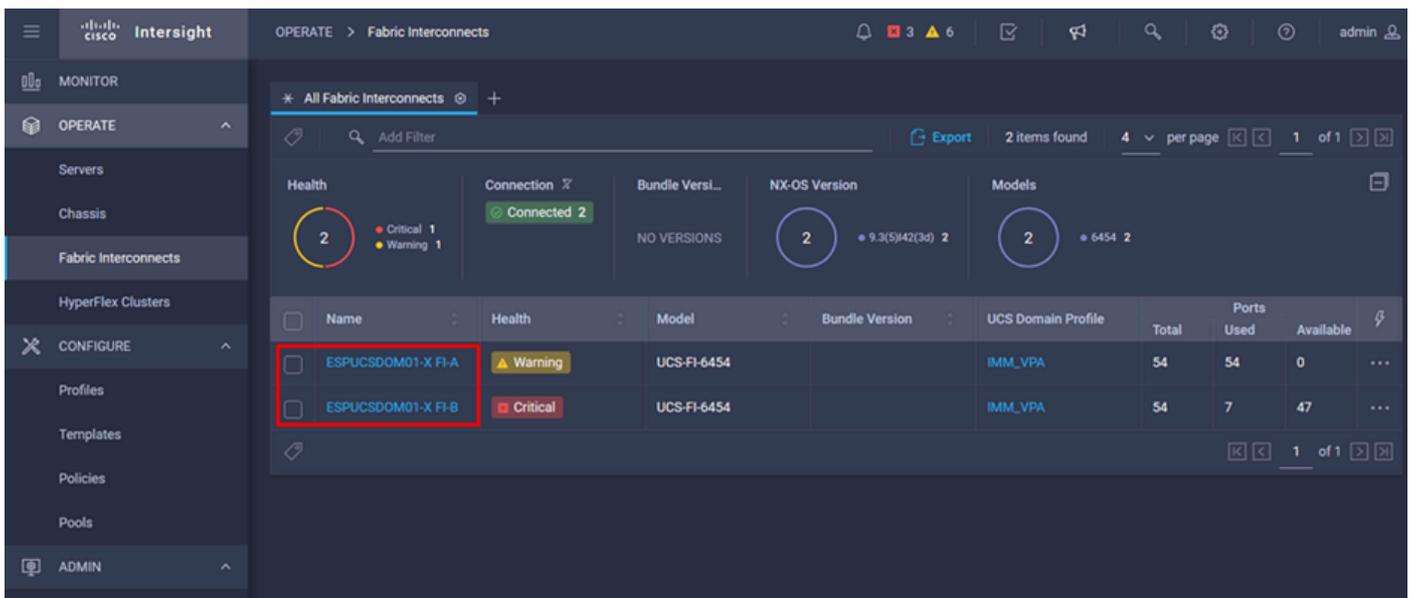


手順 6 : アラートボタンの左側にあるアイコンで進行状況を確認できます。

Software Filesタブで、ダウンロードが使用可能であることを確認します。必要に応じてページを更新します。



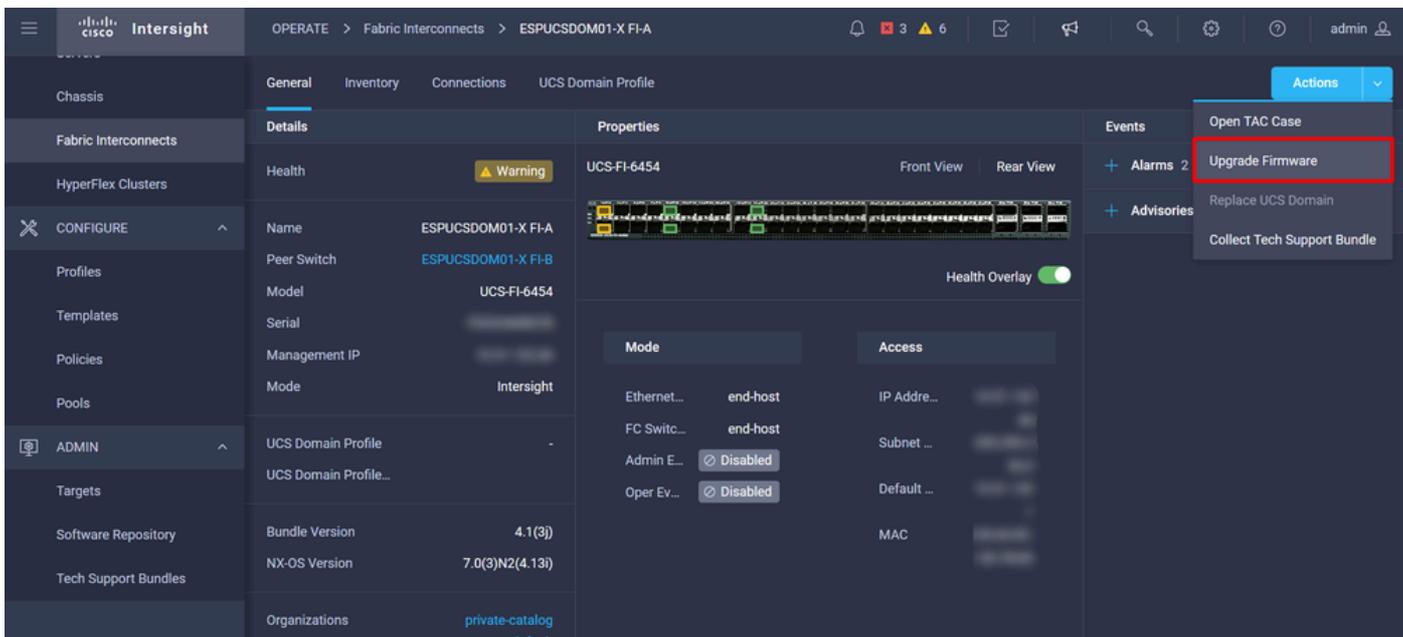
手順 7 : Operate > Fabric Interconnectsの順に移動します。アップグレードするデバイスを選択します。アップグレードするクラスタに属するFabric Interconnect(FI)をクリックします。



ステップ 8 : 正しいFabric Interconnectを選択していることを確認します。

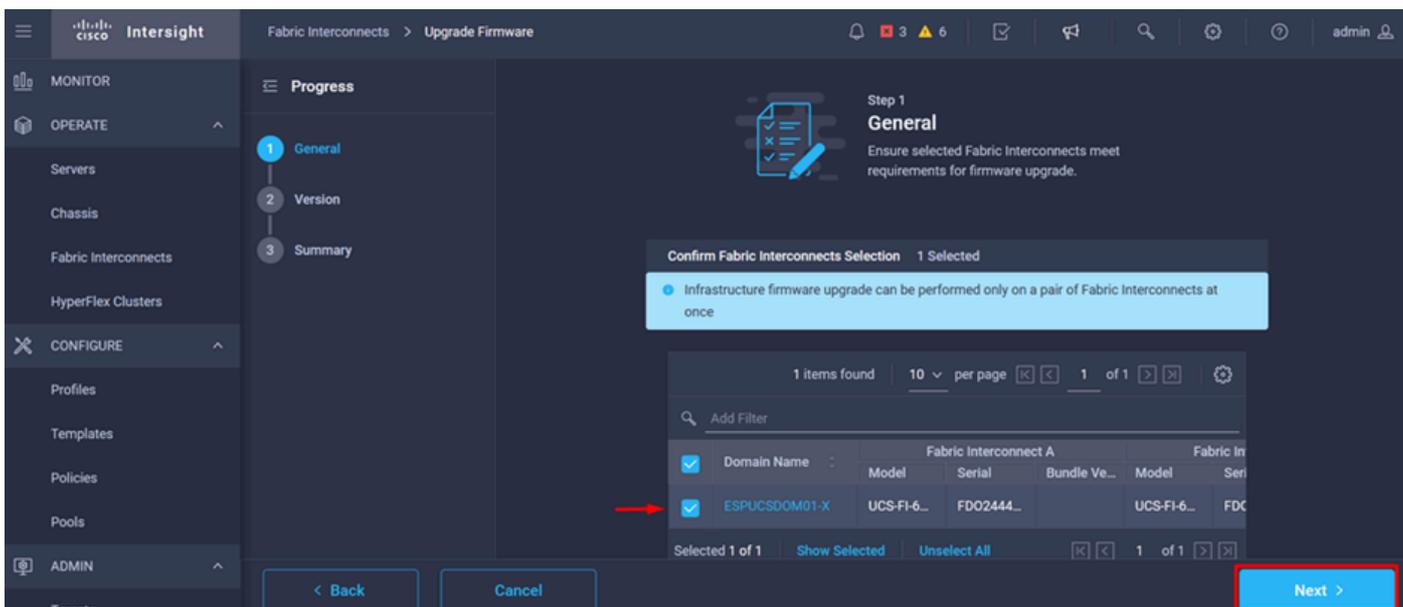
[詳細]タブでは、ピアスイッチ、管理IP、現在のバージョンなどの一般情報を確認できます。

ステップ 9 : Actionボタンに移動します。それをクリックすると、いくつかのオプションが表示され、Upgrade firmwareを選択します。

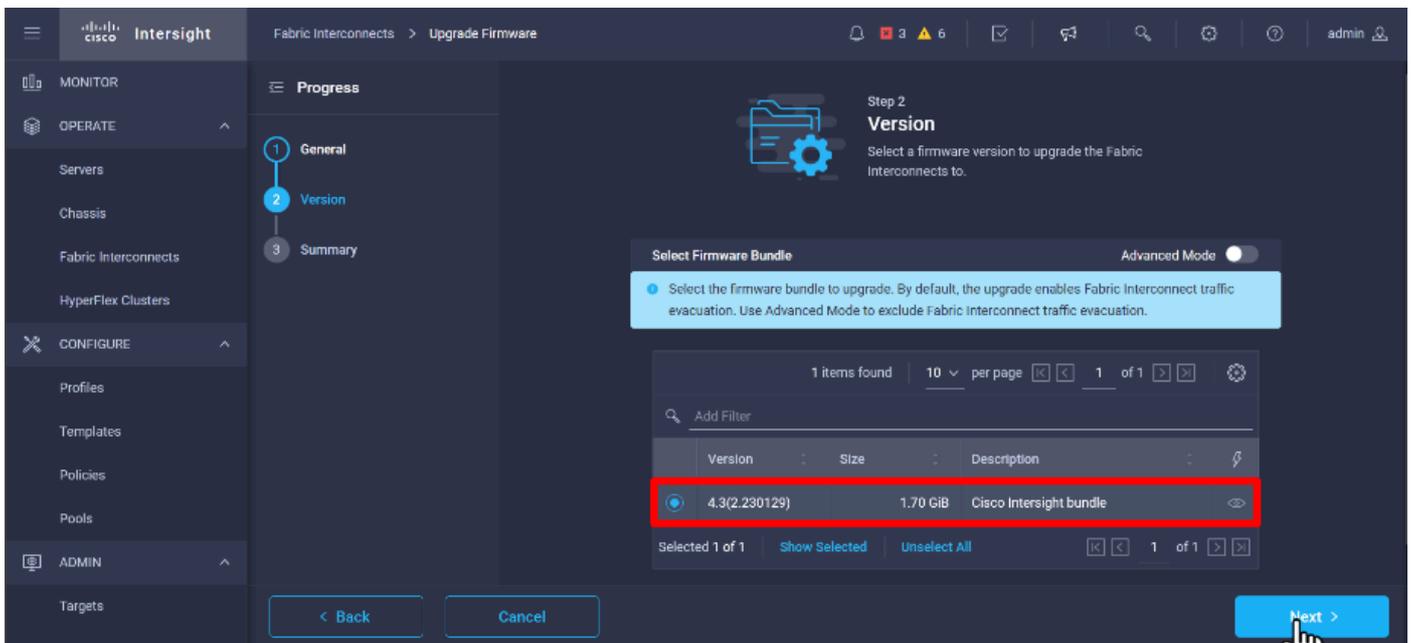


ステップ 10 : アップグレードの実行方法に関する基本的な指示を示すウィンドウが表示されます。
 。 [Start (スタート)] をクリックします。

ステップ 11 Intersightによって要求されるファブリックインターコネクトのリストが表示されます。
 。 以前にクリックしたドメインが自動的に選択されます。

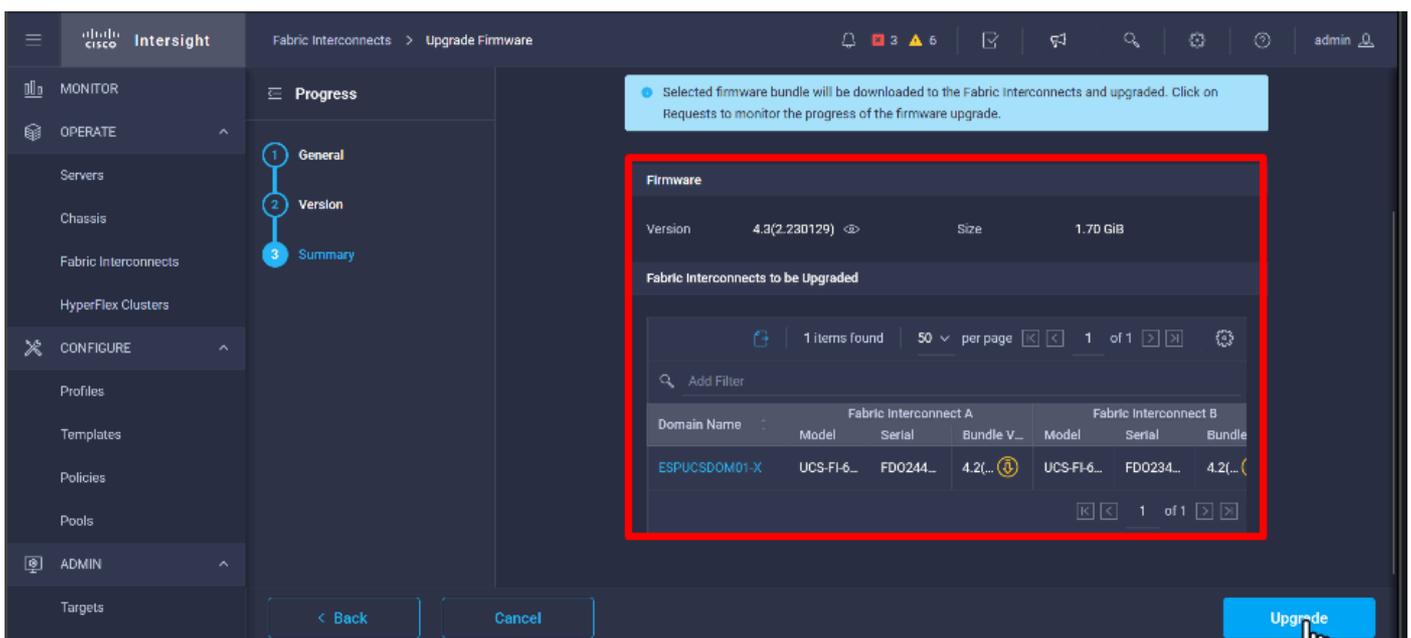


ステップ 12 この例では、パッケージバージョン4.3.2を使用できます。バージョンを選択し、
 Nextをクリックして続行します。

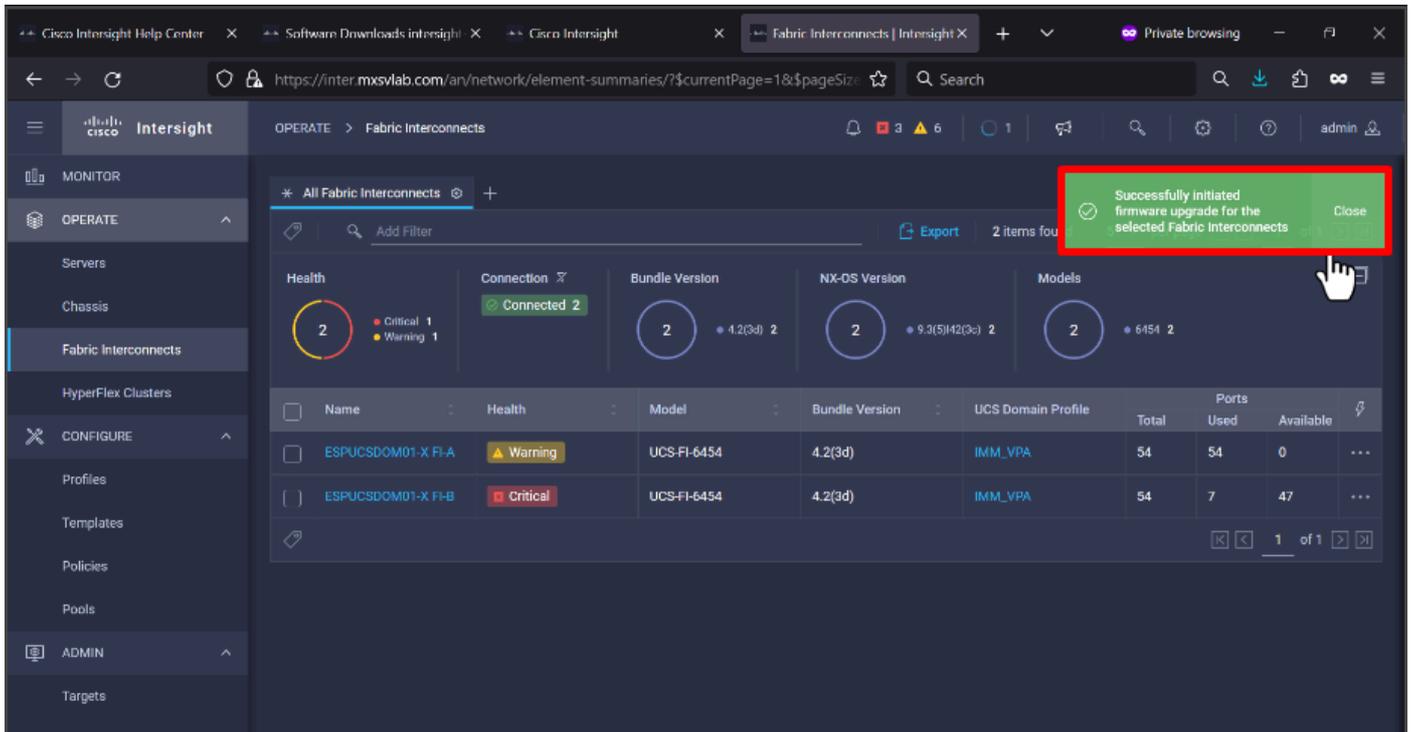


ステップ 13 アップグレードの概要 (ドメイン名、シリアル番号、モデル、ファームウェアバージョン) が表示されます。

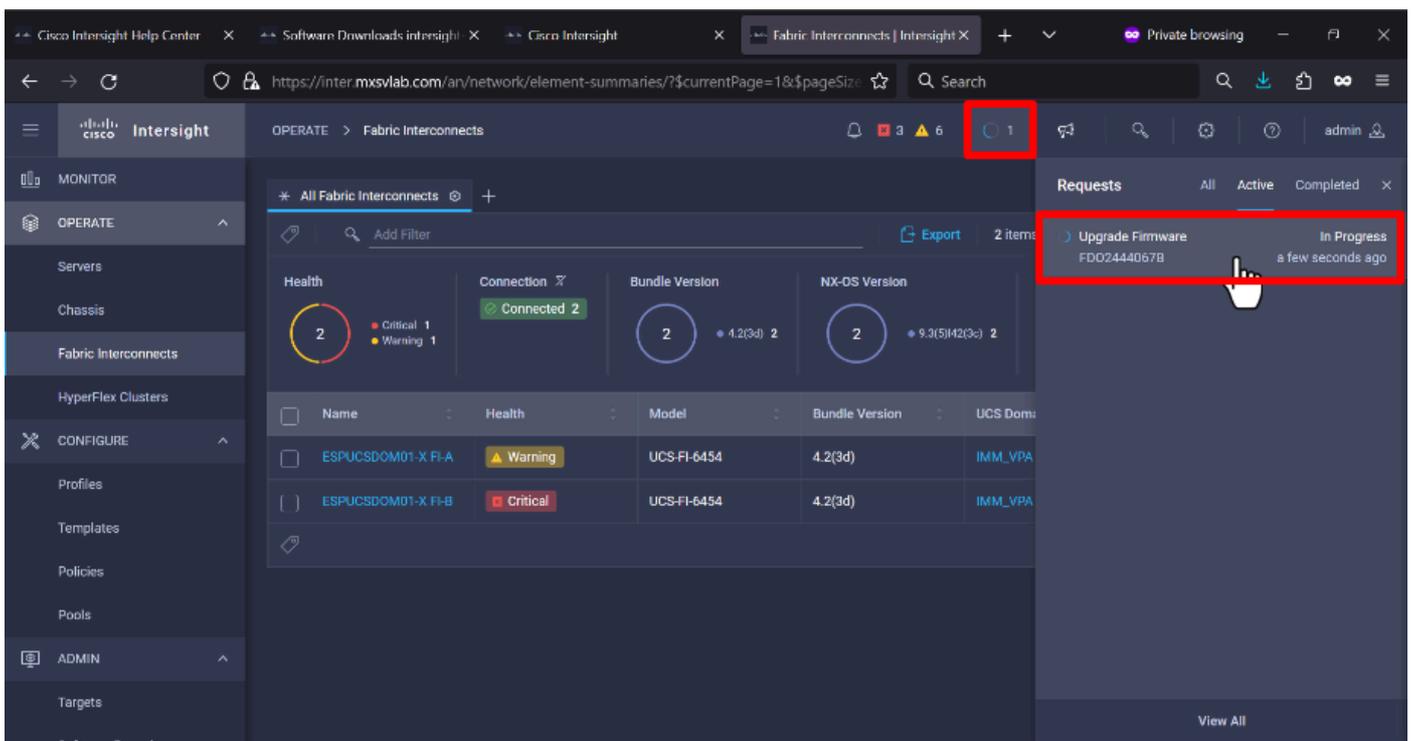
これが正しいドメインであることを確認し、Upgradeをクリックします。



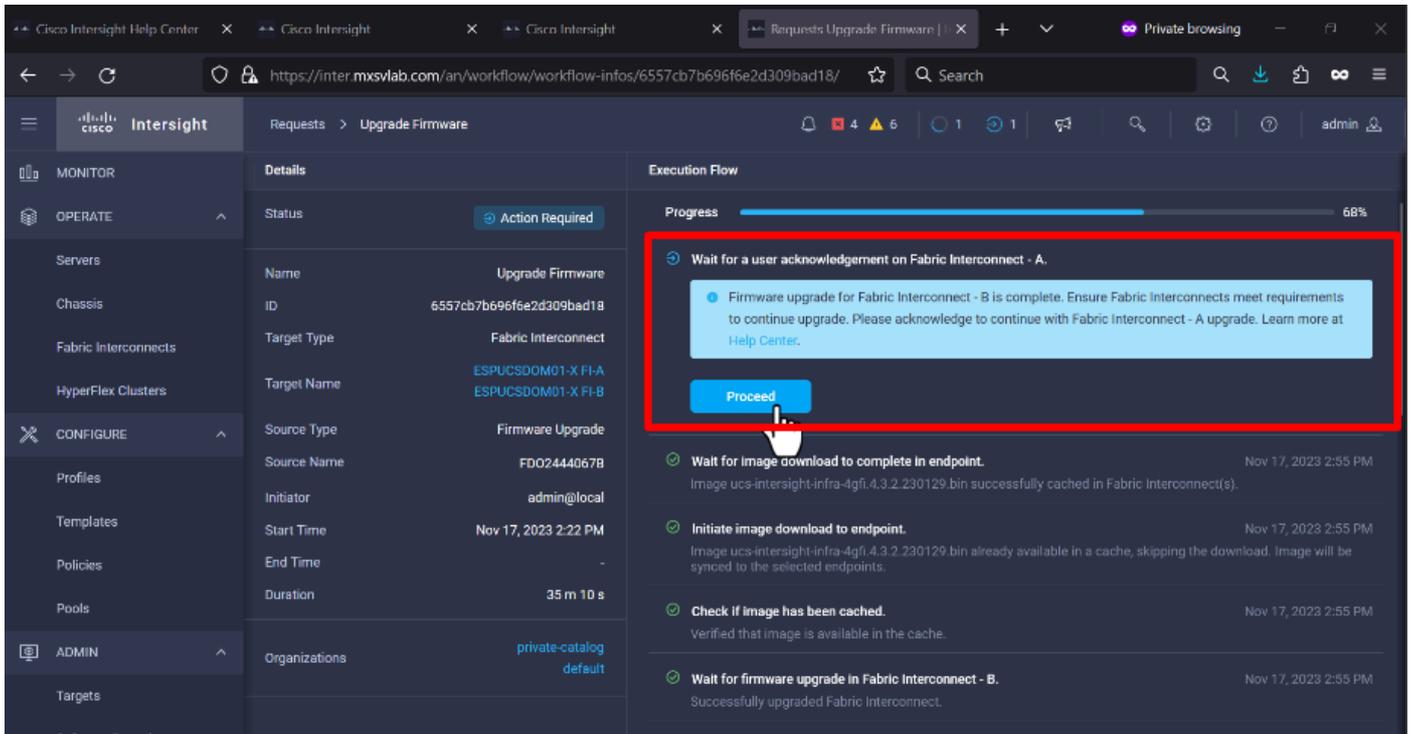
ステップ 14 : アップグレードアクションが正常に完了すると、緑色のボックスが右上隅に表示されます。



ステップ 15 : アラームボタンの横にあるアイコンを押して、アップグレードの進行状況を確認します。

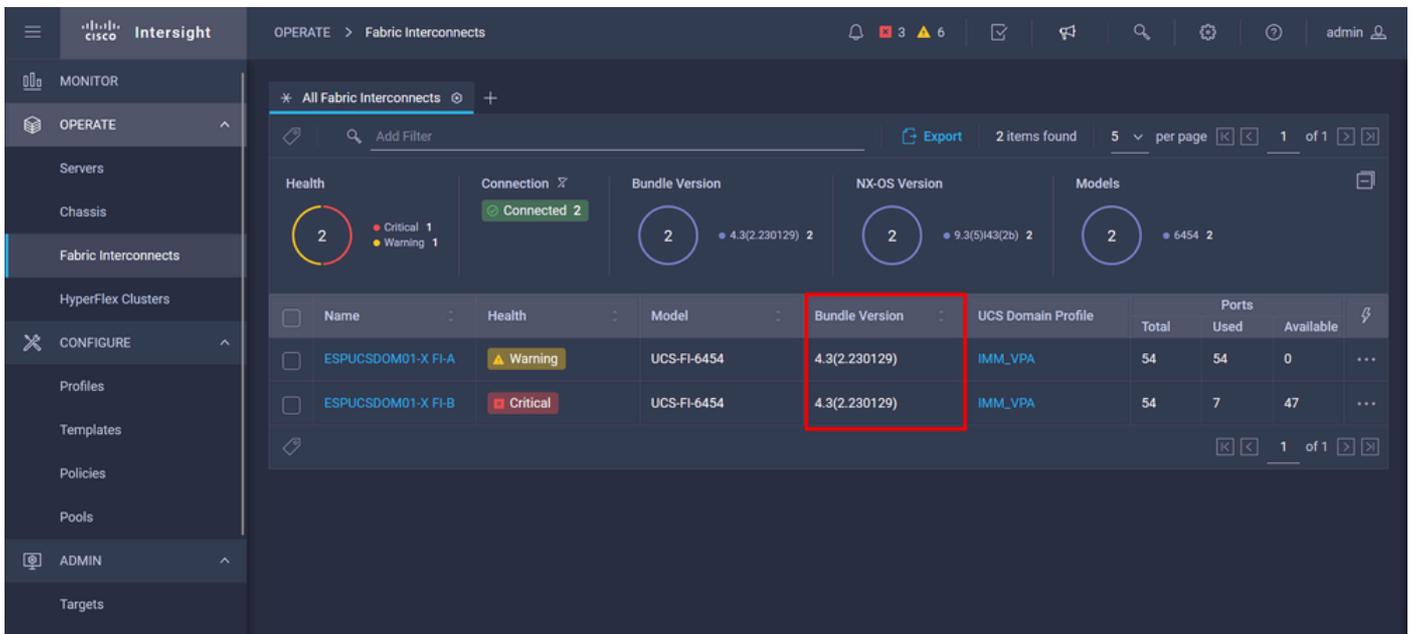


ステップ 16 : ファブリックのレポートには確認応答が必要です。Proceedをクリックして、アップグレードを続行します。



ステップ 17： Fabric Interconnects タブの Bundle Version 列で、アップグレードが正常に完了したことを確認します。

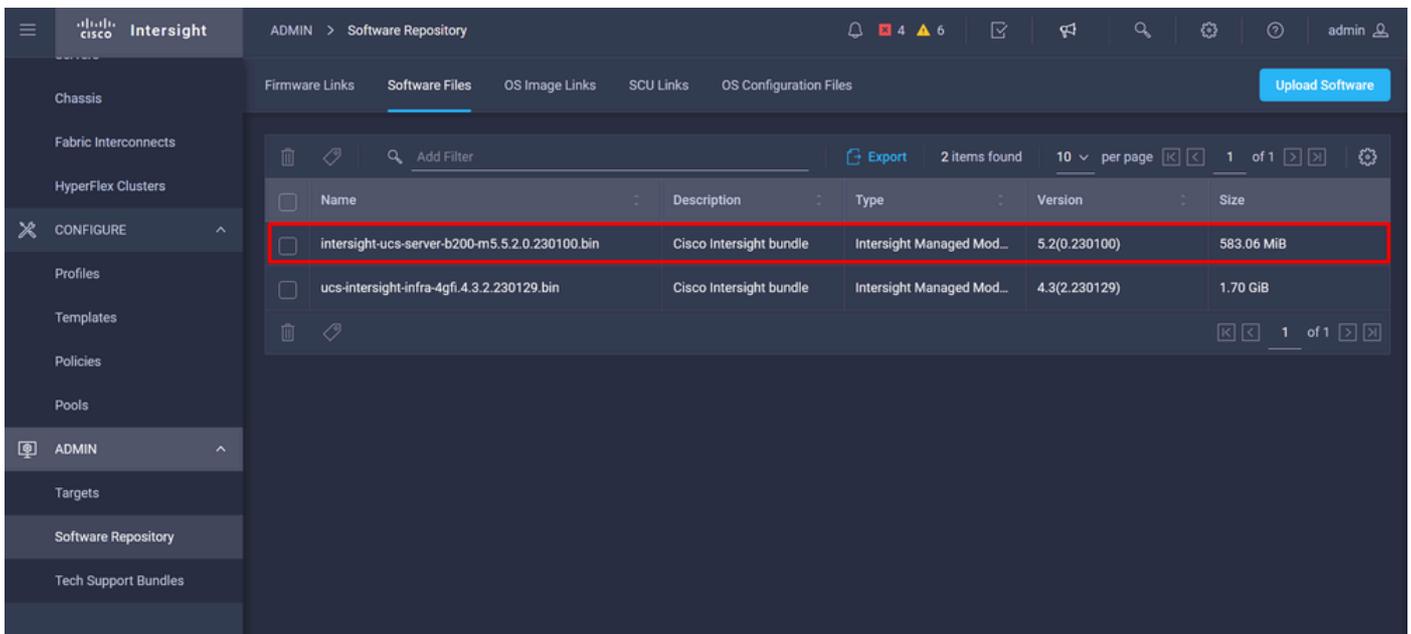
両方の FI は現在バージョン 4.3.2 です。



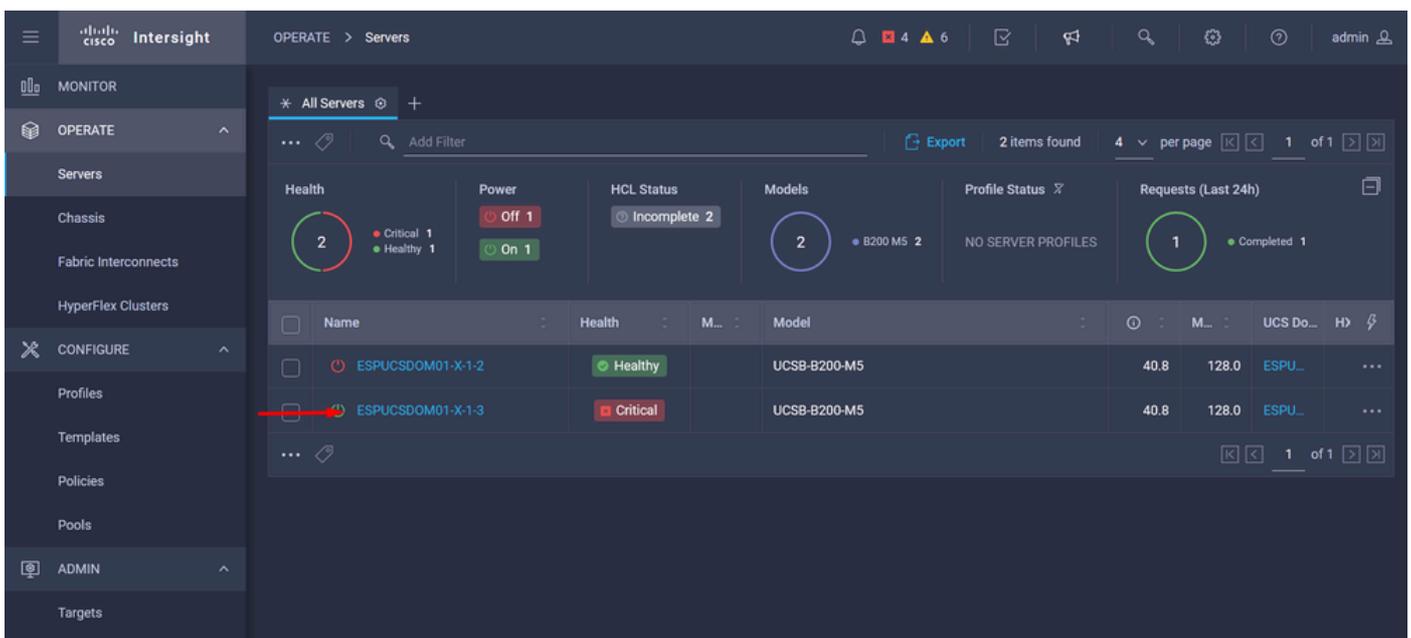
サーバアップグレード

ステップ 1： Admin > Software Repository > Software Files > Upload Software の順に選択し、サーバのファームウェアパッケージをアップロードします。

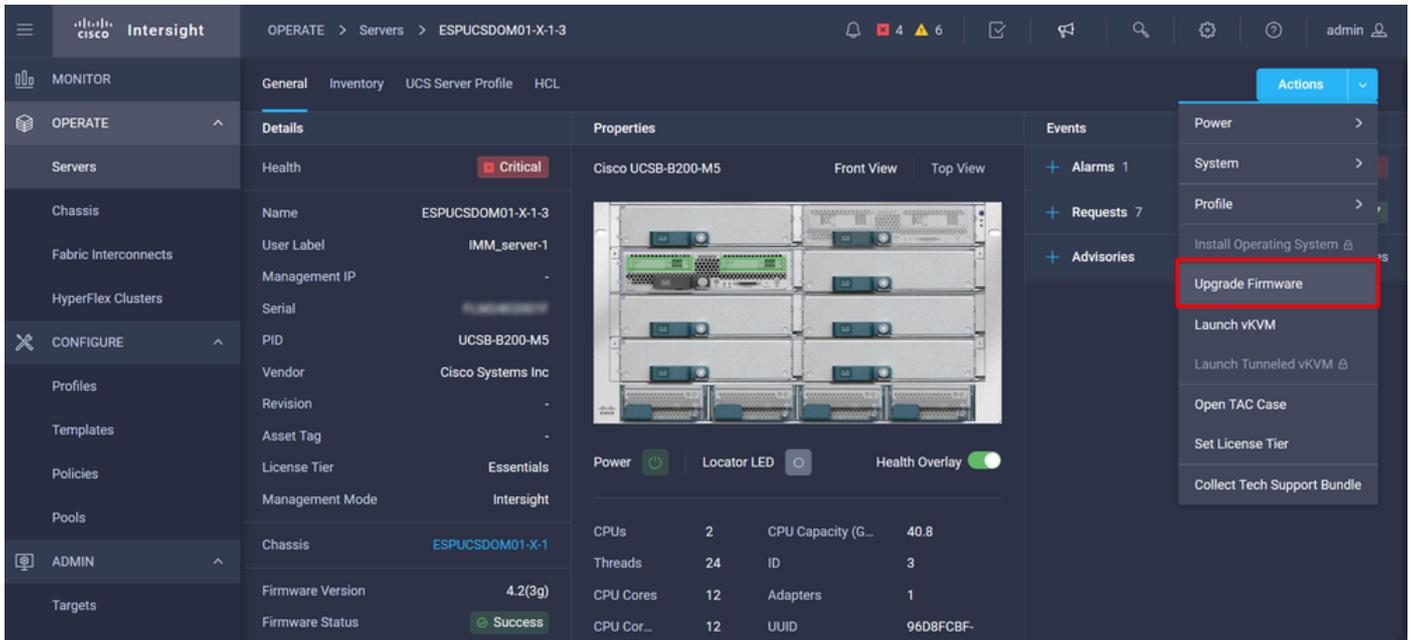
アップロードが完了したら、リストに表示されていることを確認します。



ステップ 2 : Operate > Serverの順に移動します。アップグレードするサーバを選択します。この例では、server 1/3です。

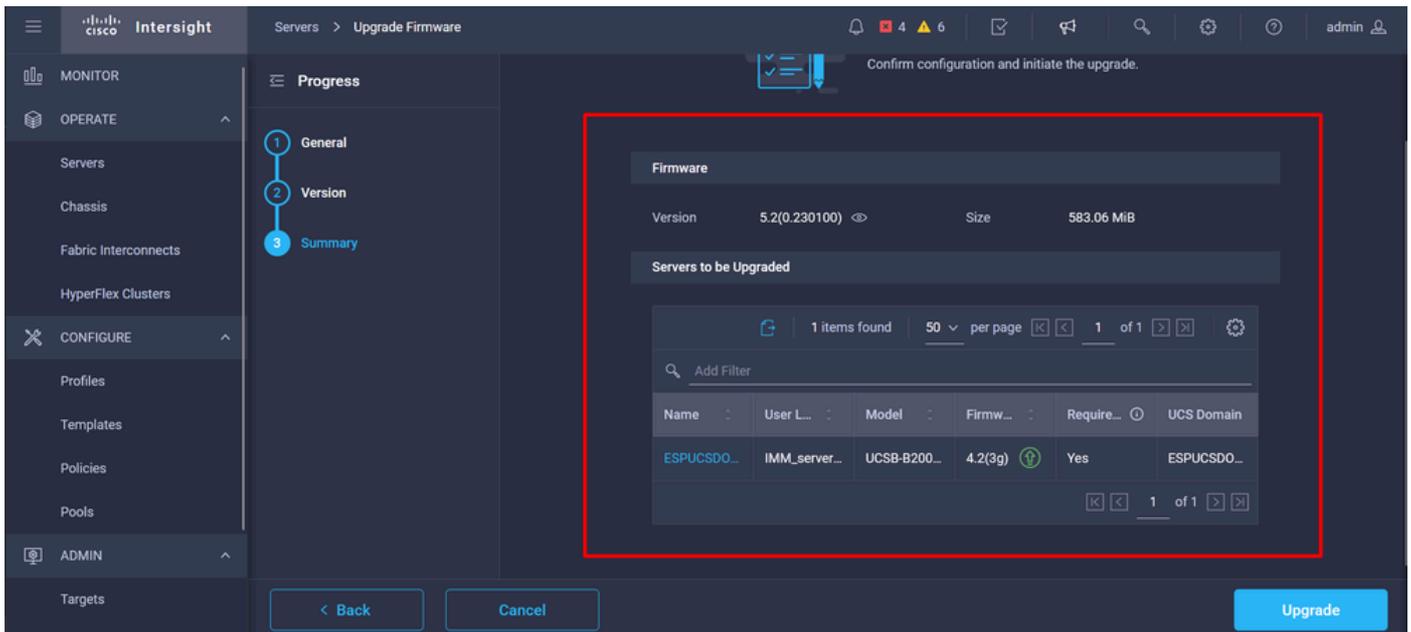


ステップ 3 : Actionボタンに移動してクリックすると、いくつかのオプションが表示されるので、Upgrade firmwareを選択します。



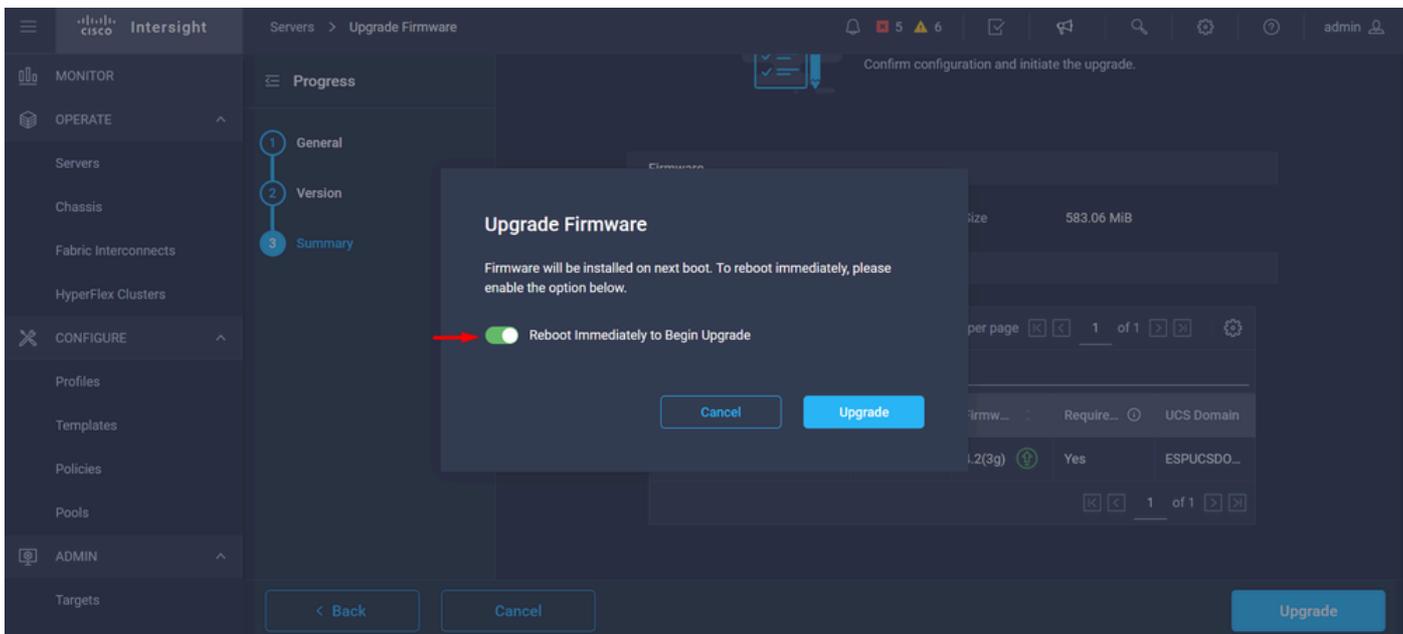
ステップ 4：正しいサーバを選択したことを確認し、Nextをクリックします。アップグレードするファームウェアバージョンを選択します。

アップグレードの概要が表示されます。サーバとファームウェアのバージョンが正しいことを確認します。

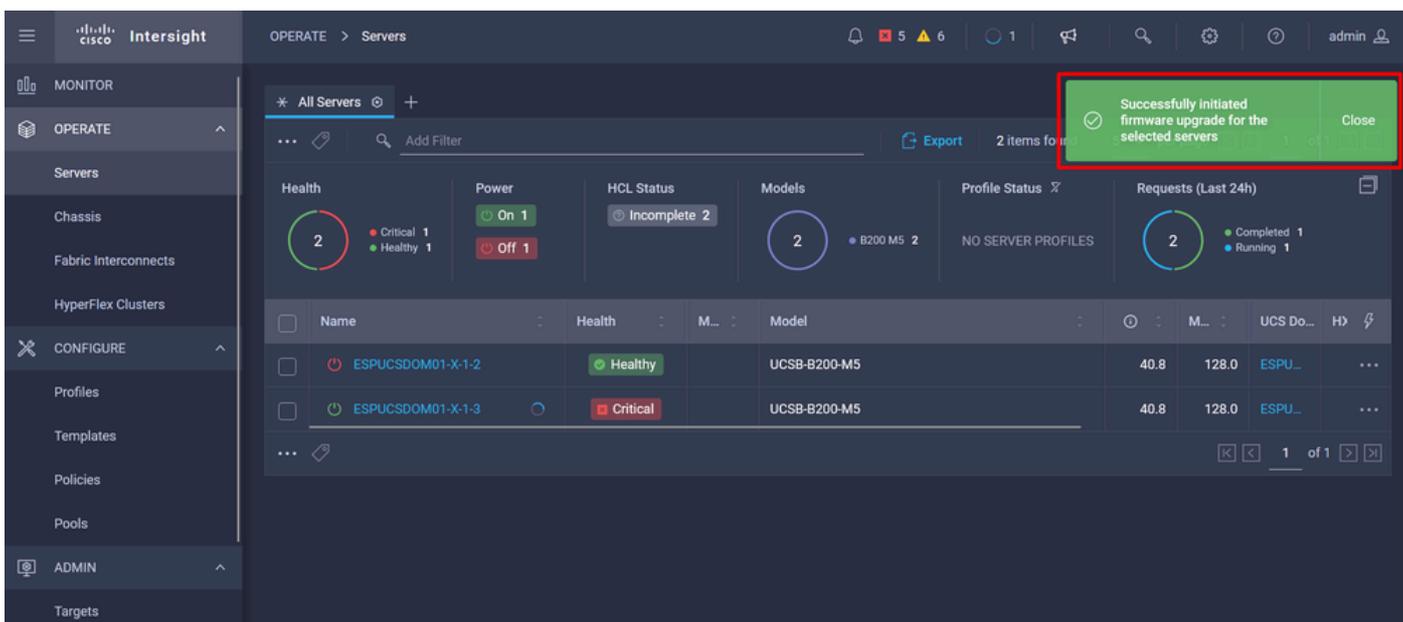


ステップ 5：新しいウィンドウが表示されます。Reboot Immediately to Begin Upgradeを有効にして、Upgradeをクリックします。

 注：有効にしない場合、サーバはすぐにはアップグレードされません。サーバは次のリブートまでアップグレードされます。



手順 6 : アップグレードアクションが正常に完了すると、緑色のボックスが右上隅に表示されます。



手順 7 : アラームボタンの横にあるアイコンを押して、アップグレードの進行状況を確認します。

OPERATE > Servers

Health: Critical 1, Healthy 1

Power: Off 1, On 1

HCL Status: Incomplete 2

Models: B200 M5 2

Profile Status: NO SERVER PROFILES

Requests (Last 24h): Completed 1, Running 1

Name	Health	M...	Model	40.8	128.0	ESPU...	HD	β
ESPUCSDOM01-X-1-2	Healthy		UCSB-B200-M5	40.8	128.0	ESPU...		...
ESPUCSDOM01-X-1-3	Critical		UCSB-B200-M5	40.8	128.0	ESPU...		...

Requests > Upgrade Firmware

Status: In Progress

Name: Upgrade Firmware

ID: 655ce22a696f6e2d309e6895

Target Type: Blade Server

Target Name: ESPUCSDOM01-X-1-3

Source Type: Firmware Upgrade

Source Name: FLM2402001F

Initiator: admin@local

Start Time: Nov 21, 2023 11:00 AM

End Time: -

Duration: 6 m 52 s

Organizations: private-catalog, default

Execution Flow

Progress: 22%

- Wait for image download to complete in endpoint. 0% completed.
- Initiate image download to endpoint. Nov 21, 2023 11:04 AM. Download intersight-ucs-server-b200-m5.5.2.0.230100.bin request is submitted successfully.
- Wait for the image download to complete in the local repository. Nov 21, 2023 11:04 AM. Image is already imported, skipping to wait.
- Prepare image download to copy the image from an external location to the local repository. Nov 21, 2023 11:04 AM. Uploader operation skipping as file is already imported.
- Validate the requirements for the endpoint. Nov 21, 2023 11:04 AM.

ステップ 8 : 完了したら、Generalタブでサーバの新しいファームウェアバージョンを確認します。このサーバのファームウェアバージョンは5.2(0.23)になりました。

The screenshot displays the Cisco Intersight interface for a server named ESPUCSDOM01-X-1-3. The 'Name' field is highlighted in red. Below it, the 'Chassis' field is also highlighted in red and shows the value 'ESPUCSDOM01-X-1'. Other details include 'Firmware Version: 5.2(0.230100)' and 'Firmware Status: Success'. The server is identified as a Cisco UCSB-B200-M5. The interface also shows a front view image of the server rack and a table of hardware specifications.

Property	Value
Name	ESPUCSDOM01-X-1-3
User Label	IMM_server-1
Management IP	-
Serial	-
PID	UCSB-B200-M5
Vendor	Cisco Systems Inc
Revision	-
Asset Tag	-
License Tier	Essentials
Management Mode	Intersight
Chassis	ESPUCSDOM01-X-1
Firmware Version	5.2(0.230100)
Firmware Status	Success

確認

FOR FABRIC INTERCONNECT

```
ESPUCSDOM01-X-A# connect nxos
ESPUCSDOM01-X-A(nx-os)#show version | egrep NXOS
NXOS: version 9.3(5)I43(2b) <<<<
NXOS image file is: bootflash:///ucs-6400-k9-system.9.3.5.I43.2b.bin
NXOS compile time: 10/23/2023 15:00:00 [10/23/2023 18:26:58]
```

FOR SERVER

```
ESPUCSDOM01-X-A# connect cimc 1/3
[ help ]#version
ver: 5.2(0.230100) <<<<
Build Time: Wed Nov 1 17:14:35 2023
Build Sha: 7e4aab46a4c04c403b3a2ae380572c38c3c4ef18
Build Tools: armv7-cortex_a9_v011-linux-gnueabi
```

関連情報

[Cisco Intersight仮想アプライアンスおよびIntersight Assist入門ガイド](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。